

重要文化財を出土した誇り高き首長のみささぎ
きんれいづかこふん
金鈴塚古墳



ながすか ふんきゅうちょう ぜんぼうこうえんふん
金鈴塚古墳は、市内長須賀にある墳丘 長約90mの前方後円墳で、後円部の
よこあなししきせきしつ ちくぞう
一部と横穴式石室が保存されています。6世紀末の築造と考えられています。

ふくそうひん
昭和 25 年（1950）に発掘され、出土した大量の副葬品の中から金製の鈴が
見つかったことから、金鈴塚古墳と命名されました。出土品は木更津市郷土博物館金のすずに収蔵・展示されています。